

# 付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ情報

平成28年12月4日～9日に陸奥湾3定点で付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ調査を行ったので、その結果をお知らせします。

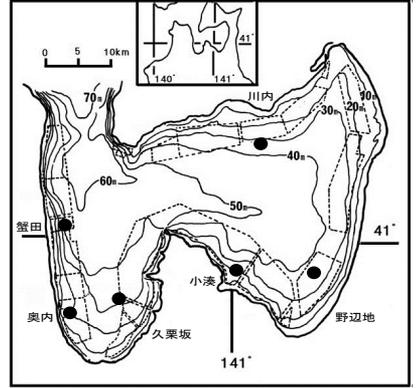


図1 ラーバ調査地点

## 1 ラーバ等の出現数

### (1) ユウレイボヤ

各地点ともラーバは見られませんでした(表1、図2)。

### (2) ムラサキイガイ

ラーバは、久栗坂沖で132.8個/トン、小湊沖で138.8個/トン、川内沖で46.1個/トン出現しました。また、11月7日～12月9日まで久栗坂沖、川内沖に垂下した付着基質への付着も見られました(表1、図3)。

### (3) その他

オベリア類(クサ)のクラゲが小湊沖で1.3個/トン見られましたが、ザラボヤとキヌマトイガイ(コメガキ)のラーバは見られませんでした(表1)。

マボヤのラーバが久栗坂沖で2.2個/トン、小湊沖で5.0個/トン、川内沖で3.9個/トン出現しています(表1)。

表1 ラーバ等の出現数

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	オベリア類	ムラサキイガイ	マボヤ
久栗坂沖	H28.12.9	0.0	0.0	132.8	2.2
小湊沖	H28.12.4	0.0	1.3	138.8	5.0
川内沖	H28.12.9	0.0	0.0	46.1	3.9

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

単位:個/トン

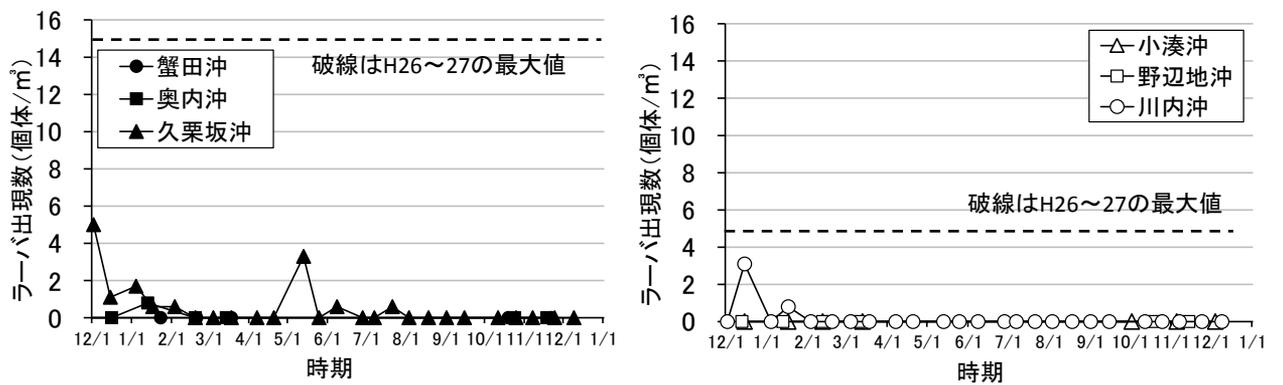


図2 ユウレイボヤラーバ出現数の推移(平成27年12月～平成28年12月)

## 2 水温の状況

各ブイ中層の12月13日の日平均水温は、表2のとおりです。

## 3 今後の見込み

### (1) ユウレイボヤ

ラーバの出現ピークは例年11～12月となっていますが、依然としてラーバが見られていないため、分散済みの籠への今秋の付着は少ないと思われる。

### (2) ムラサキイガイ

久栗坂沖、小湊沖、川内沖でラーバが出現し、久栗坂沖、川内沖で付着も確認されているので、掃除した耳吊りや入れ替えした籠へ付着するものと思われる。

### (3) その他

オベリア類(クサ)やキヌマトイガイ(コメガキ)の付着は年明けになるものと思われる。

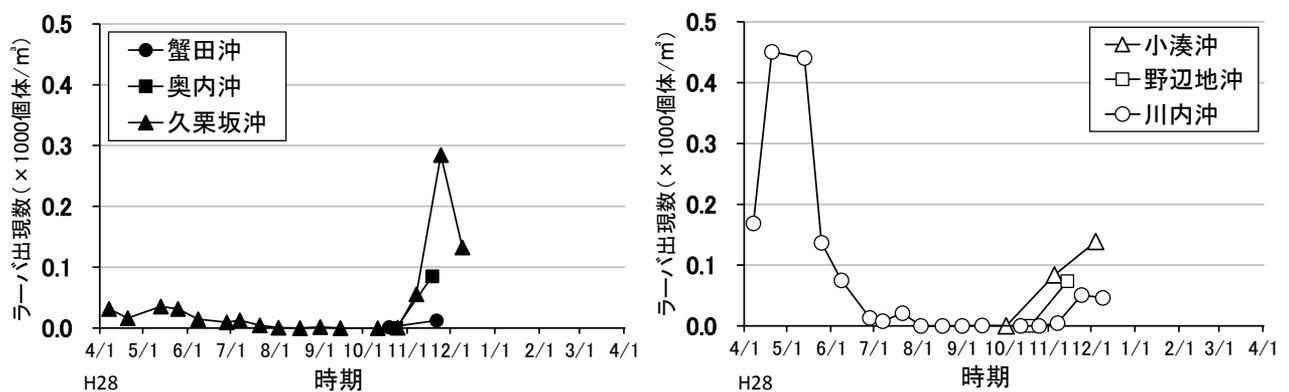


図3 ムラサキイガイラーバ出現数の推移(平成28年4月～12月)

表2 各ブイ中層の日平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	13.0	東田沢ブイ	10.0
蓬田ブイ	12.4	野辺地ブイ	9.2
奥内ブイ	10.4	横浜ブイ	8.0
青森ブイ	10.7	浜奥内ブイ	8.2
浦田ブイ	10.4	川内ブイ	9.0
		東湾ブイ	9.3

平館、青森、東湾は15m層、それ以外は10m層

発行元: 地方独立行政法人  
青森県産業技術センター 水産総合研究所  
住所: 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10  
TEL: 017-755-2155 FAX: 017-755-2156

水産総合研究所ホームページURL: <http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184>  
ホタテガイ採苗速報 携帯電話用QRコード(①)  
海ナビ@あおもり 全モバイル端末共用QRコード(②)

